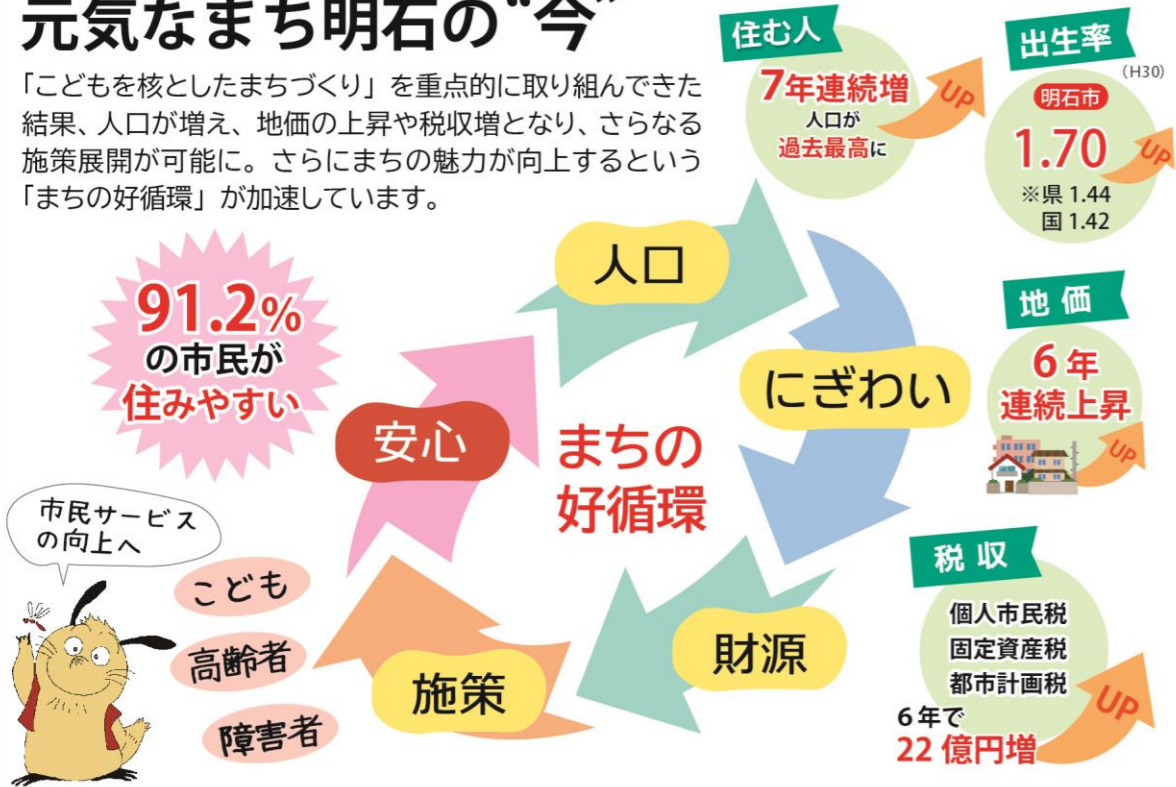


新年度予算案の基本的な考え方

SDGs 未来安心予算 (2020 年度予算)

元気なまち明石の“今”

「こどもを核としたまちづくり」を重点的に取り組んできた結果、人口が増え、地価の上昇や税収増となり、さらなる施策展開が可能に。さらにまちの魅力が向上するという「まちの好循環」が加速しています。



SDGs 未来 安心都市・明石へ

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

いつまでも 持続可能

まちの好循環により、未来につながるサステイナブル(持続可能)なまちづくりに取り組みます。

すべての人に 誰一人取り残さない

年齢・性別・障害・国籍などに関わらず、すべての人が安心のインクルーシブ(誰一人取り残さない)なまちづくりに取り組みます。

いつまでも

みんな

すべての人に

やさしいまち

みんなで パートナーシップ

行政・市民・企業などが一丸となってみんな(パートナーシップ)で目標の達成に向けて取り組みます。

やさしいまち やさしい社会を明石から

SDGsの理念である環境・経済・社会の統合的向上を目指し、ハード・ソフト両面からやさしいまちづくり(やさしい社会を明石から)に取り組みます。

誰もが住みたい・住み続けたいと思うまちへ



2020 年度の重点的な取組

① やさしい共生社会に向けた取組

すべての人が、ありのままに、自分らしく暮らし、社会の一員として支え合い活躍できるまちづくりを推進します。

- ・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進(P.6)
- ・成年後見制度の活用促進(P.6)
- ・高齢者等の移動支援のあり方の検討(P.7)
- ・高齢者活躍支援の充実(P.9)
- ・(仮称)インクルーシブ条例の制定に向けた検討(P.9)
- ・みんなの居場所づくりプロジェクトの実施(P.11)
- ・LGBT/SOGI施策の推進(P.13)
- ・更生支援/犯罪被害者等に対する支援の充実(P.14~15)



② 地球と自然にもやさしいまちづくり

人にも、地球にも、自然にもやさしい持続可能なまちづくりに取り組みます。

【地球にやさしく】

- ・気候非常事態宣言に関する取組(P.17)

【自然にやさしく】

- ・緑のあり方に関する検討(P.17)

【海のまち】

- ・(仮称)豊かな海づくり条例の制定(P.18)
- ・全国豊かな海づくりプレ大会の開催(P.19)



③ まちの元気と魅力の向上

明石の魅力を市内外へ広く発信し、まち全体が元気になるよう取り組みます。

【時のまち】

- ・時の記念日 100 周年、天文科学館 60 周年記念事業(P.20)

【本のまち】

- ・「本のまち明石」の推進(P.21)
- ・(仮称)読書バリアフリー条例の検討(P.21)

【歴史のまち】

- ・歴史ある文化財資源の活用(P.22)



④ 安全・安心(ハートフルハード)のまちづくり

すべての市民の安全・安心を確保するため未来の投資として、やさしい都市空間づくりに取り組みます。

- ・市役所新庁舎整備に向けた取組(P.24)
- ・市内全域の均衡のとれた安心のまちづくり(P.25)
- ・安全で利便性の高い幹線道路の整備(山手環状線等)(P.27)
- ・山陽電鉄バリアフリー化の促進(P.28)
- ・ホームドア設置の促進(P.29)
- ・災害に強いまちづくりの推進(P.30)



⑤ こども総合支援の充実

すべてのこどもを、まちのみんなと、一人ひとりに寄り添い、本気で応援します。

- ・待機児童対策(P.31)
- ・幼稚園給食の実施(P.32)
- ・0歳児の見守り事業の実施(P.33)
- ・誰にもやさしい学校づくりに向けた取組(P.38)
- ・中学校給食の無償化(P.38)
- ・(仮称)「学びと育ち支援システム」(統合型校務支援システム)の導入(P.40)

